

令和3年度

病害虫発生予察情報

第 18 号

特殊報第2号

北海道病害虫防除所 令和3年(2021年)8月31日

<http://www.agri.hro.or.jp/boujoshou/>

Tel:0123(89)2080・Fax:0123(89)2082

サツマイモ基腐病が道内で新発生

発生確認作物：さつまいも

病害虫名：*Diaporthe destruens* (Harter) Hirooka, Minoshima et Rossman

1. 発生の確認経過

- (1) 本年8月中旬、道内のさつまいも栽培ほ場において、葉が黄化して生育不良になり、根元が黒変して腐敗する症状が発見された（写真1）。黒変、腐敗した茎の表面には柄子殻が多数確認された（写真2）
- (2) 上川農業試験場において、発生株の茎から病原菌の分離を行った結果、糸状菌が分離され、分離菌の形態的特徴と農研機構植物防疫研究部門において罹病組織から核酸を抽出しリアルタイムPCRを行った結果、本病原菌はサツマイモ基腐病菌と同定された。

2. 本病の特徴

- (1) 本病は糸状菌の一種ディアポルテ・デストゥエンスによって引き起こされる病害で、感染したさつまいもは茎の地際部が黒褐色から黒色に変色し、茎葉は黄色や紫色に変色してしおれ、症状が進むと壊死する。いもは主に茎の付け根側から腐敗する。
- (2) 本病は主に汚染された苗で伝搬する。また、発病した株の残渣上で越冬し、翌年の感染源となる。
- (3) 本病は発病株に形成された胞子が、降雨による飛散や滞水によって周辺株に広がって感染するため、排水不良な場所で発生しやすい。

3. 防除対策

- (1) 健全種苗を使用する。
- (2) 植え付け前に苗消毒を行う。
- (3) 連作を避ける。
- (4) 排水性を改善する。
- (5) 発生ほ場では薬剤の茎葉散布を行う。
- (6) 発生株、残渣はほ場外に持ち出し、適正に処分する
- (7) 機械類や長靴等による土壌の移動に注意し、作業終了後にはこれらの洗浄を行う。

サツマイモ基腐病に対する苗消毒剤

剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	使用方法
チウラム・ベノミル水和剤	200倍	植付前	1回	30分間さし苗基部浸漬
ベノミル水和剤	500~1000倍	植付前	1回	30分間苗基部浸漬

サツマイモ基腐病に対する茎葉散布剤

剤名	希釈倍数	使用液量	使用時期	使用回数	使用方法
炭酸水素ナトリウム・銅水和剤	1000 倍	200～300L/10a	収穫前日まで	—	散布
アゾキシストロビン水和剤	2000 倍	100～300L/10a	収穫 14 日前まで	3 回以内	散布
	32 倍	1.6L/10a			無人航空機による散布
銅水和剤	500 倍	100～300L/10a	—	—	散布



写真1 株元の黒変



写真2 表皮に形成された柄子殻